

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

佐賀県太良町 町立太良病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	その他
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
8,069	6,606	第2種該当	-	10 : 1

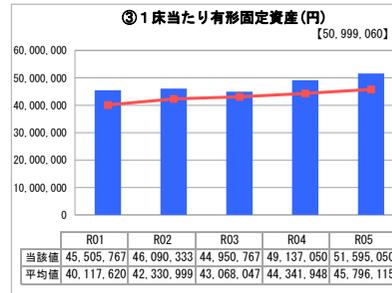
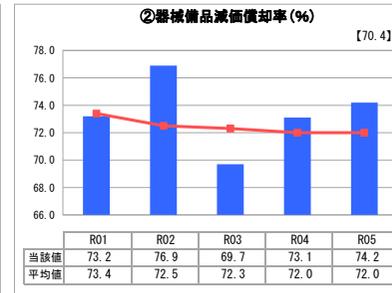
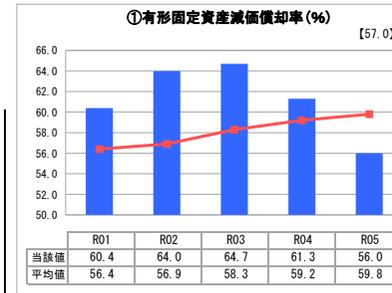
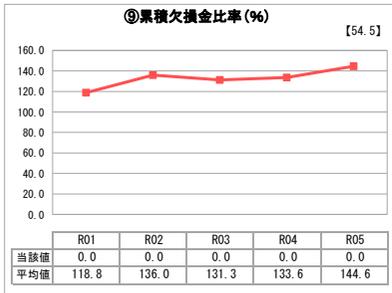
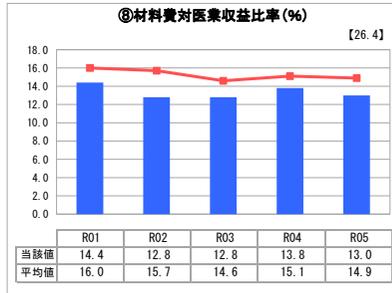
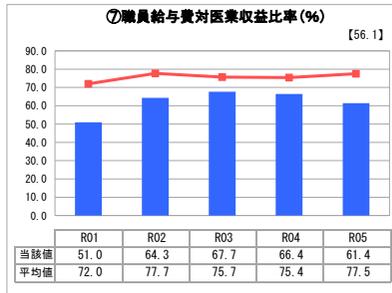
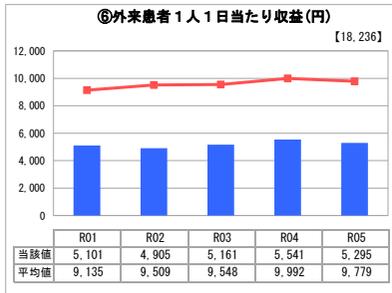
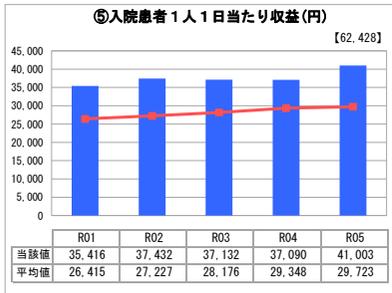
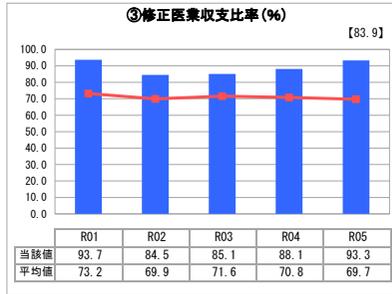
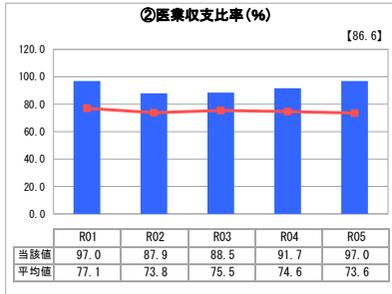
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審判病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
60	-	60

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
【】	令和5年度全国平均	

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の縦割・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

佐賀南部医療圏の南端に位置する人口7900人の町で、入院患者の75%、外来患者の90%が町内の方になり、地域のかかりつけ医療機関の役割を担っている。また、整形外科は年間200件の手術を行っており、小規模ながら内科、整形外科を中心に地域のニーズにあった医療提供が出来ている。高齢化が進んでいる中、在宅医療や訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護も必要性を増しており、地域包括ケアシステムの中心となり、救急医療、小児医療から在宅医療介護まで幅広くカバーしなければならない。また、町内唯一の病院として、感染症患者受け入れ、及び予防接種事業等、保健分野の対応も必要とされている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

本年度も新型コロナウイルスの対応として4床を空床確保しながらの運営、内科常勤医師（現状、内科常勤医師1名）の減で利用率が低下したが、医業収入としては、入院部門で地域包括ケア病床の増床を行い収益確保に努めた。また、外来部門では、リハビリ患者の増加もあり増収はなっているが、単価としては減少している。給与費率は、令和2年度からの会計年度のフルタイム任用の増加によるものだが、医業収入の増加で比率としては前年より改善している。材料費は価格上昇の影響が出てきている。材料費率は今後も価格交渉を徹底に行う。委託費や光熱費の増加もあるので、経営全体の削減に努め、医業収支比率100%以上を目指す。

#### 2. 老朽化の状況について

新築後18年が経過し修繕費等も増加傾向にある。4年から5年度は、空調設備の更新、5年度に、LED照明への更新等を行い、長寿命化計画に沿って更新や予防保全を行っている。小規模病院で1床当たりの有形固定資産は高くなってしまいが、町内唯一の病院で救急から在宅までの必要な医療を提供していくためには欠かせない投資も多いと考える。今後とも計画的な投資と設備維持に努めなければならない。

### 全体総括

経営状況は改善傾向にあるが、内科常勤医師の減は入院収入に大きく影響（利用率の減）している。これまで以上に、医師確保を多面的に行う必要がある。町内唯一の病院として、必要とされている部分に力を入れていき、収益改善に努めなければならない。費用面では処遇改善による人件費増や、委託費、光熱水費等が増加傾向にあるが、経費の削減に取り組むこと、必要な設備投資を行いながら健全経営を行っていきたい。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。